

6 おわりに

(委員メッセージ)

足立 和義 委員

福知山市が「鉄道のまち」と言われる郷土の先人達の大きな偉業について、行政は勿論のこと、広く全市民が学び、私たち市民の貴重な郷土の宝である「鉄道のまち」の灯をここで消してはならないと考えています。

足立 政人 委員

鉄道はこの福知山とは長年にわたり文化的・経済的に深い関わりをもってきました。それは今後も続いていきます。「鉄道のまち」としての歴史を次世代に伝えていく、また新たな歴史を刻んでいくためのシンボルとして、鉄道館ポッポランドが再開されますことを心より願っております。

井上 敬規 委員

これまで委員会において様々な意見やアイデアが協議されてきましたが、それらを実現に繋げていく今後が本当の正念場になると思います。これからも微力ではありますが、地に足のついた現実的な活動を続けていきたいと思っています。

榎原 傑 委員

福知山を知る。自分が住んでいる街を知る。鉄道を知る。交通網の発展により人の移動の変化、物流の変化、経済の発展にどのように貢献してきた等知ることも大切なことと思います。住んでいる福知山を知ってもらうことが先輩の責任だと思っています。

梶村 誠悟 委員

福知山市の発展は鉄道の歴史とともにあり、先人の偉業を讃え、福知山のシンボルとして、福知山鉄道館ポッポランドが設置されたと理解しています。時代の流れとともに、設置目的などが薄れることや財政危機であることなどを強調し、事業見直しを行うことは一抹の不安を覚えます。

福島 慶太 委員

常設展示できる施設整備が難しくとも、鉄道博などのようなイベント形式で、歴史継承及び観光誘客を図ることができると思います。

吉見 美晴 委員 (副委員長)

委員会解散後も、ポッポランドがさらに魅力的な施設となり、その波及効果として福知山市の活性化につながることを願って、これからの行く末を見守っていききたいと思っています。

赤井 貴恵 委員（副委員長）

福知山に鉄道がある。そこには、行政・市民・科学の歴史やドラマ、何より誇りがいっぱい詰まっています。福知山市の近代史に触れられる絶好の機会だと思います。

市民だけでなく行政も教育行政も民間団体も他人事と思わず、ポッポランドを「福知山市を誇れるまちにする起爆剤」として使ってほしいと思います。

本多 洋子 委員

まだまだ沢山の問題が山積みですが、「鉄道のまち福知山」と言われた由縁をなるべく多くの方に知っていただき、ポッポランドが市民に親しまれる存在になってほしい、と願うばかりです。そしてこれを終わりとせず、さらに多くの方々の力を結集して、少しでもまち起こしの一役を担えるよう祈ります。

